



にじいろ通信

令和 8年 10月号

キッズケア青い鳥のWEB
予約と事前登録はこちら



インフルエンザの流行はこれから！

9月は長雨が続き、気持ちのいい秋晴れをみることなく過ぎ去ったように感じます。

9月下旬から朝晩の気温が一段と下がったせいか風邪ひきや喘息のお子さんが増えました。

一方で、今年は異例の早さで**インフルエンザの流行**が始まっているとマスコミの報道がありました。どうも**全国的な地域差がある**ようです。**今治地区では9月は大きな流行とはなりません**でした。今治保健所からの9月のインフルエンザ報告数によると、第36週(8/31～9/6) 1.26、第37週 1.50、第38週 3.25、第39週(9/21～9/27) 2.00でした。**第40週(9/28～)**に入り、外来での印象ですが、**インフルエンザの患者数が小学生を中心に増加してきています**。おそらく、**今後流行が拡大してくるもの**と思います。

現在検出されている**インフルエンザの型はほとんどがA型(AH1pdm09)**です。インフルエンザにかかってしまった時、ワクチン接種をすべきかどうか悩みますが、今シーズンに別の型のインフルエンザが流行する可能性もありますので、やはり接種すべきと考えます。

松居直氏「絵本の与えかた」

松居直氏は大手児童書出版社の福音館書店の創立に関わり、多くの絵本作家を育て、日本の絵本文化の礎を築いた人です。松居先生が親御さん向けに書かれた「絵本の与え方」という冊子があります。

その中で、私が最も印象に残ったのは、「**絵本は幼児に読ませる本ではなく、おとなが読んであげる本**」だということです。大人が読んでやるからこそ、絵本は幼児の成長にかかけがえのない、大切なかわりを持ち、重要な役割を果たすとしています。次回からこの冊子の内容をシリーズでご紹介します。

9月の感染症情報

鼻水と発熱の普通感冒と高熱がでるヘルパンギーナなどの夏風邪が比較的多くみられました。水痘、マイコプラズマ、パラインフルエンザ、RSV感染症の散発的な発生がありました。インフルエンザが9月末から増えてきました。新型コロナの発生はありませんでした。

キッズケア青い鳥
のブログはこちら



青い鳥を利用したお子様の様子などをブログで随時配信しています。
ぜひ上記のQRコードにアクセスしてみてください。



9月の利用状況

9月の利用延べ人数は109人、1日平均利用人数は5.7人でした。年齢別では、1歳児が33人で最も多く、次いで4歳児20人、2歳児15人の順でした。疾患別では、急性上気道炎が55人で最も多く、RSV感染症12人、気管支炎5人、マイコプラズマ感染症5人の順でした。学童のお子さんでは、マイコプラズマ、インフルエンザ、水痘、溶連菌感染症による入室がありました。9月は天候が不順な日が多く、短い秋となりそうです。インフルエンザの流行に備えてマスク、手洗いなど感染対策を心がけてください。